



学校だより

はくれい

白山市立白嶺小学校
白山市立白嶺中学校
第19号
令和7年3月7日

第23回「こどもたちの五行歌受賞作品」

鶴来ライオンズクラブ
青少年健全育成事業より

銀賞】

わあ きれいな
山頂からみたご来光
もう一度みたい
また行きたいな
白山に
六年 菊地香帆

入賞】

はるの
さくら
ピンクいろで
たくさんのハートみたいで
かわいいな
二年 常少つばさ

入賞】

お父さんに注文！
もっとお母さんのこと気にかけてほしい
兄妹のあつかいを平等にしてほしい
仕事が大変なのは分かるけど
心を込めて注文します
五年 常少彩葉

入賞】

じゅぎょうを真けんにつけると、
時間があつという間に
すぎていく。
なんでだろう
答えはじゅぎょうよりむずかしい。
四年 常少凜音

入賞】

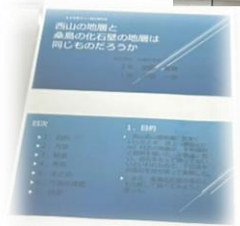
もうすぐクリスマスだ
何を頼もうかな
妹はお金って言うてた
サンタさんってお金くれるのかな
ふしぎだけどおもしろい
五年 新田莉緒



第11回ライン賞表彰式

◎第11回ライン賞 優秀賞

加藤尊勝(中2) 川端一徹(中1)
「西山の地層と桑島の化石壁の地層は
同じものだろうか」



〈審査員からの講評〉

2人の作品は、観察、実験が非常に丁寧に行われていた。
「ライン賞」の選考は「科学」であることを重視している。
「科学」とは、好奇心をもとに新しいことを見つけ、積み重ねていく営みであり、どんな小さな事でもいいから、誰も知らなかったことや今まで誰も気づかなかったことを見つけて、何度でも見返せるように書き記していくことが「科学」の一步だ。
その実験をやると、なぜ自分たちの仮説が証明できると考えたのか、筋道を立てて実験の計画を立てられるとさらに良くなる。





◎第79回国民スポーツ大会 2/15～16

少年男子リレー10 km×4 第11位 辻 悠心（他 鶴来高校選手）

少年男子大回転 第105位 殊才凰作

北陸中日新聞 令和7年3月1日（土）朝刊より

白山麓づくし給食うまい

献立コンクール 関さん優良

白嶺小中で実食 堅豆腐ステーキなど

白山麓の特産品を使った給食
いずれも白山市白嶺小中で

献立は、鹿肉入りミートのソースを添えた堅豆腐のステーキ、木滑なめこやイノシシ肉、おぼろ豆腐が入ったみそ汁、山菜の炊き込みご飯など。白山麓の特産品

白山市白嶺中学校1年の関陽斗さん（13）が、県内の中学生を対象にした学校給食献立コンクールで優良賞を受賞し、献立が実際の給食で提供された。白嶺中学校では、児童生徒約60人が白山麓の特産品をふんだんに使った給食を味わった。

（中尾真菜）

献立は、鹿肉入りミートの魅力を知らしてもらおうと考案した。

家族が経営するレストラン手取川（同市木滑）を継ぐのが夢という関さん。同店では、山菜やジビエ料理などを扱っており、家族にも食材の相性などを相談し、給食でも提供できるイノシシ肉をメニューに取り入れた。

関さんは「特産品が入っていて味も良くおいしい。特に堅豆腐とミートソースが合っている」と自己評価。「みんなが好きな味が不安だったけど、おいしいと言ってくれてうれしかった」と話した。

コンクールには2431点の応募があり、最優秀賞5点などが選ばれた。1点、優秀賞3点、優良賞



献立を考案した給食を味わう関陽斗さん（手前右）